

～ 第48回 ～

景気動向調査結果

－ 令和 5年 4月分 －

[調査概要]

1 調査対象期間 令和5年1月～令和5年3月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしておりますが、令和3年10月分は100社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

令和5年4月分(令和5年1~3月対象)の景気動向

1 総論

売上はほとんどの業種で回復、約1年ぶりにプラス30と高水準になり業況は改善傾向も、物価高等に伴い原材料、燃料費を中心としたコスト増加に加え、賃上げ等への対応で人件費が増加し中小企業のキャッシュフローが圧迫されている状況となっています。

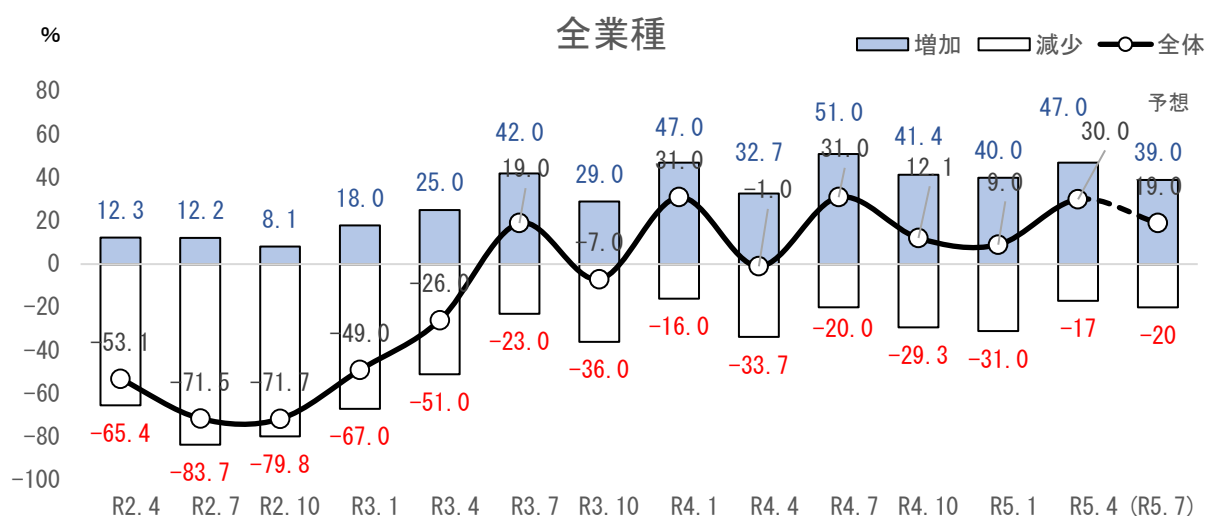
また、深刻化している人手不足や人材不足、更にはコスト増加を販売価格になかなか転嫁できない状況など、経営のかじ取りが難しい状況が続いています。

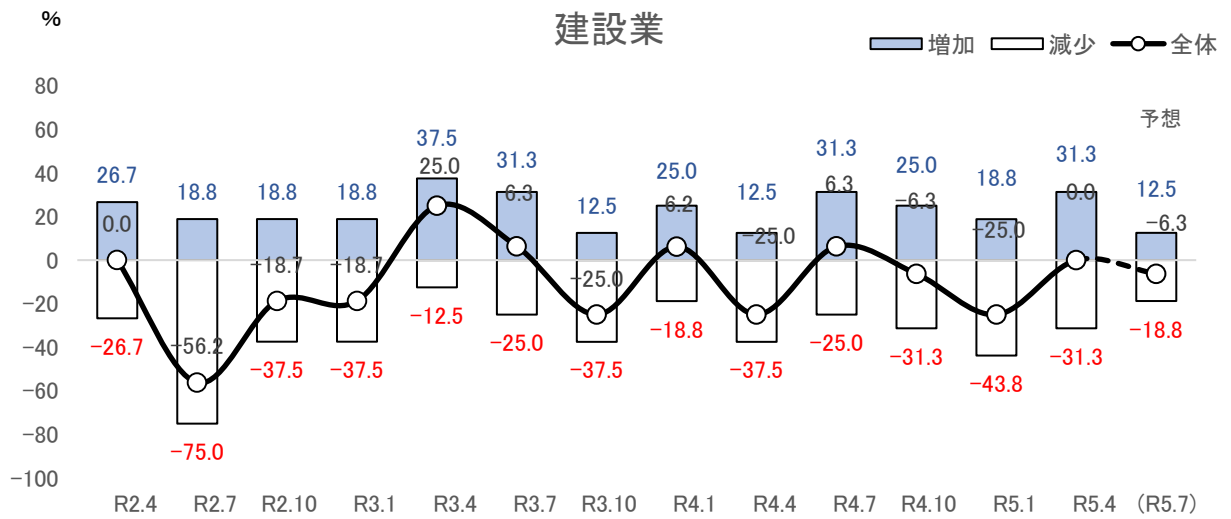
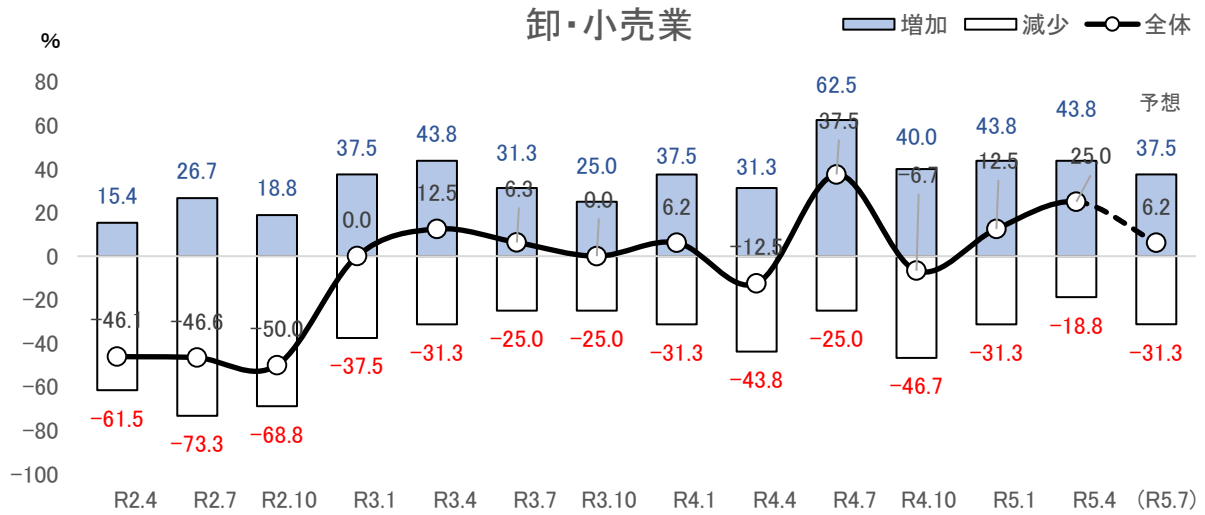
2 売上

売上の業種別状況では卸・小売、製造、宿泊・飲食、サービス業で増加、建設が横ばいという結果で全体で30ポイントの増加になりました。中でも特に宿泊・飲食では81.3ポイント増加と、大幅な回復となりました。コロナ禍が落ち着き消費が活発化してきた、値上げを行い売上増加につながったというプラス側面の一方、建設業での物価高による民間工事の伸び悩みの影響や、製造業での半導体需要の減速の影響が一部で売上高減少につながっています。

今後の見込みでは建設業を除く4業種でプラス見込みとなっており、5月以降の経済活動の活発化に期待が高まっています。

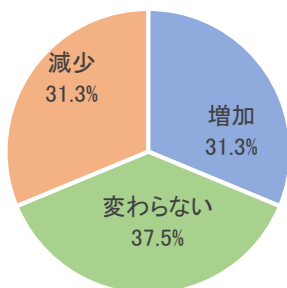
■ 最近3か月、前年同期と比べて及び今後3か月の予想



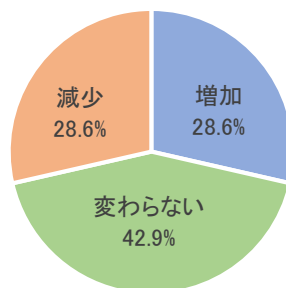


(建設業)

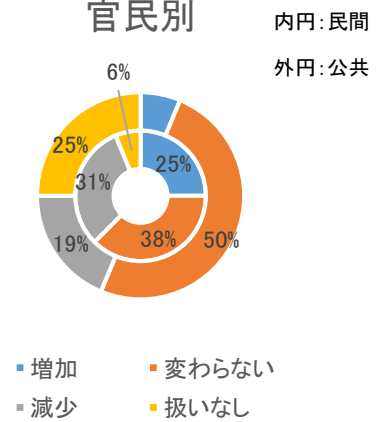
手持現場数

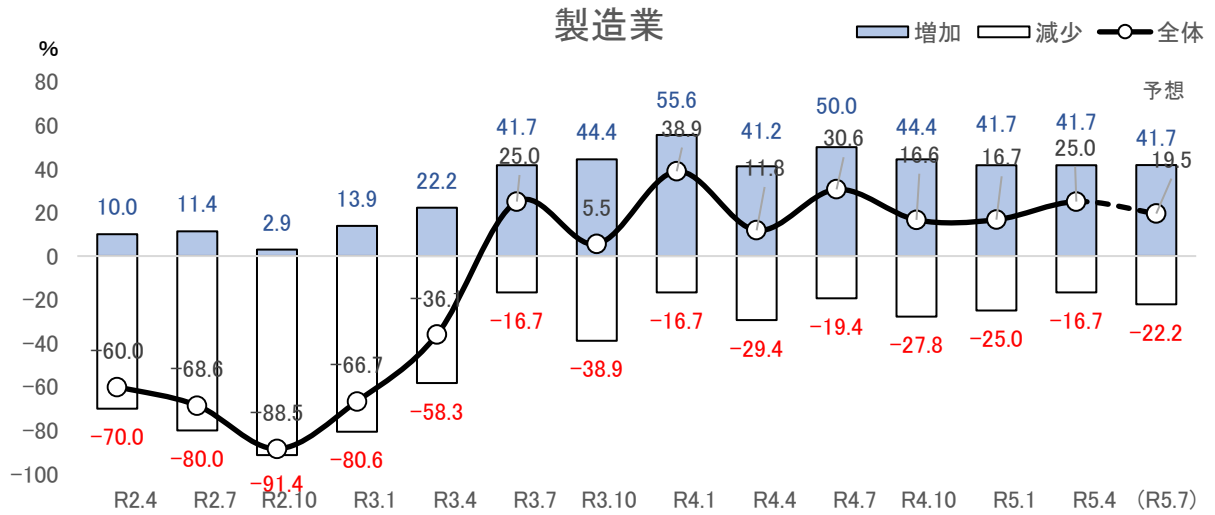


受注総額

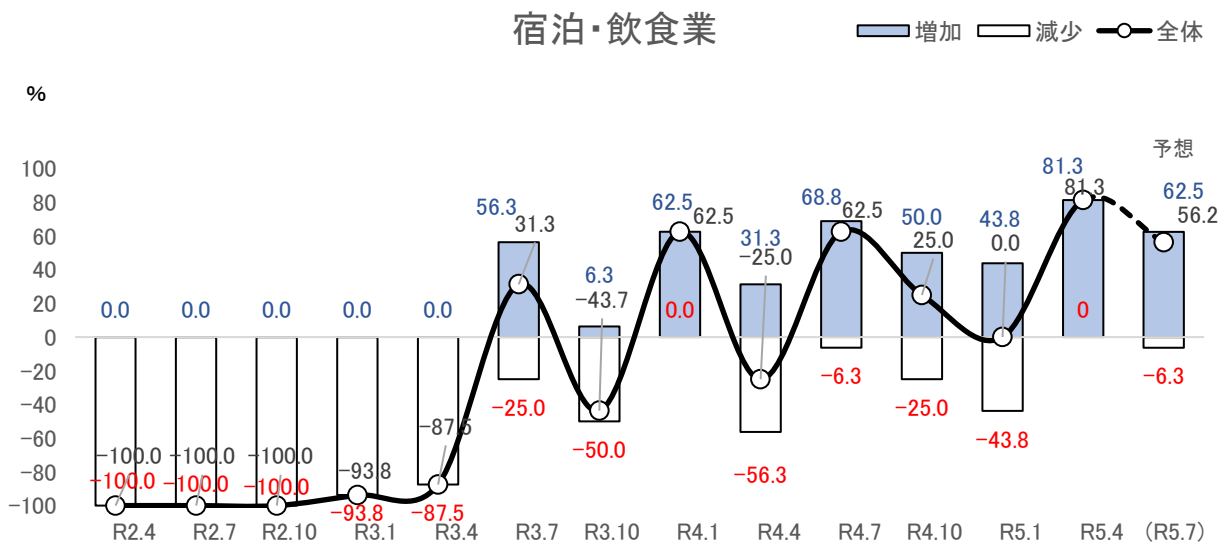
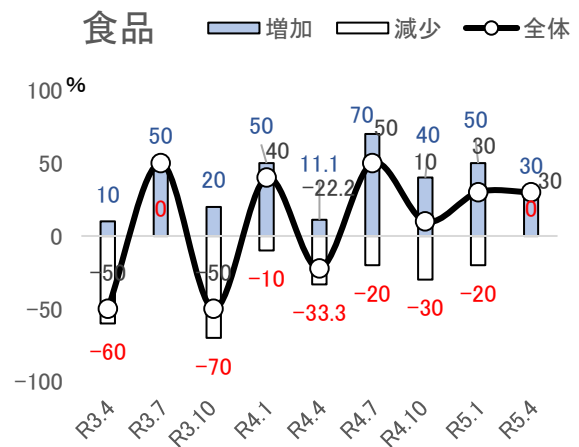
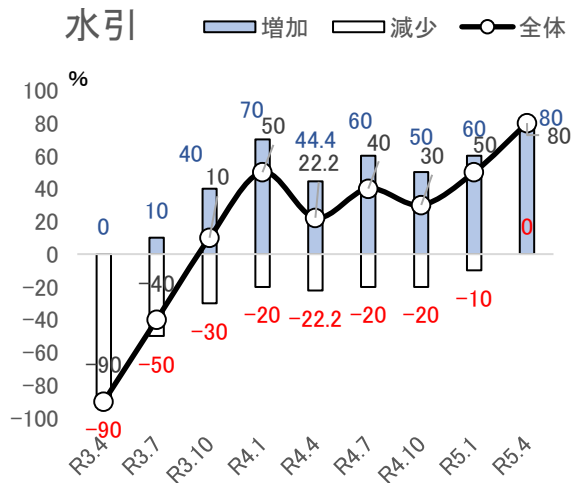


官民別

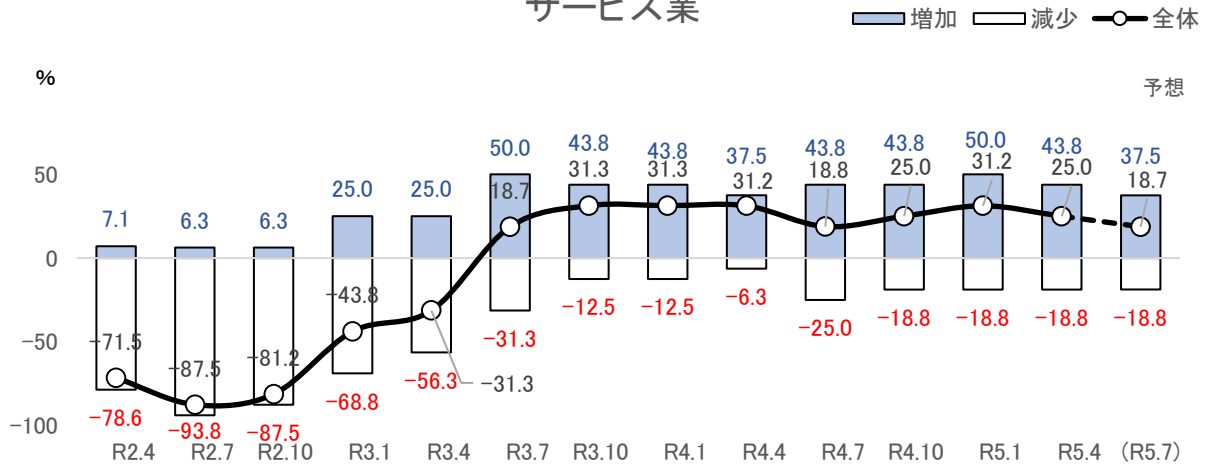




(伝統産業)



サービス業



【主なコメント】

◆増加要因

- 値上げによる売上高増加(卸・小売)
- コロナが落ち着き人の動きがでてきた(卸・小売)
- リニア移転工事の受注(建設)
- 航空機・防衛関係が上がっている(製造)
- 新規取引先があり増加見込み(製造)
- コロナウイルスも安定してきた。社会生活が活発になる(製造)
- 来客数が増加。5月中旬以降、意識の変化により、来客数が増加と予想(宿泊・飲食)
- 売上は上がっても経費が増加しているため利益にはならない(サービス)

◆減少要因

- 民間工事は物価高を背景に大きく減少している(建設)
- 半導体関係が落ちてきている(製造)
- FAが昨年来悪い。半導体が過剰にあるためか(製造)
- 自動車関係が動かない(製造)
- 顧客の高齢化による影響が大きいと思われる(サービス)

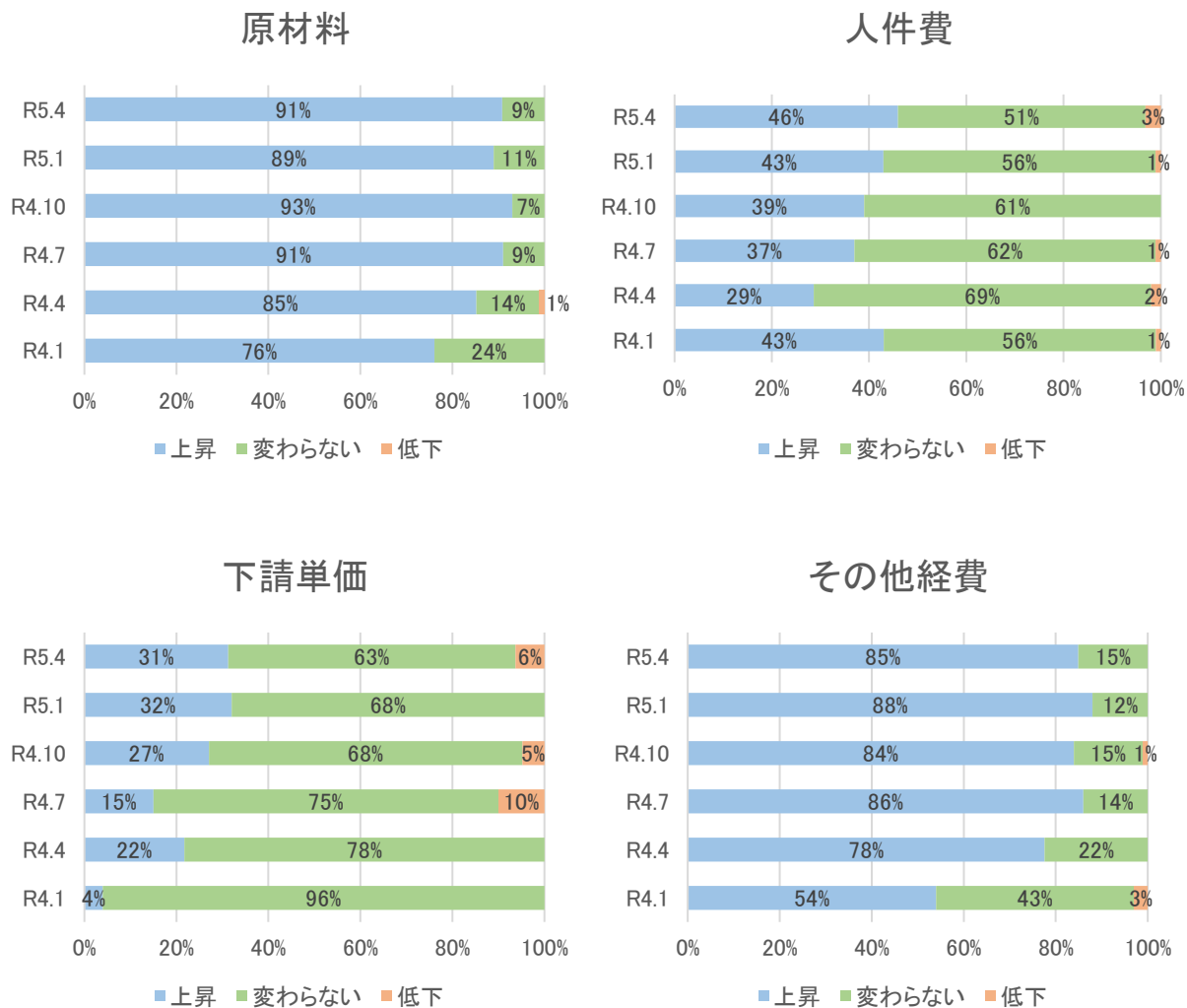
◆今後3ヶ月予想

- 感染症の影響が少なくなり、5月以降も受注は増えていく雰囲気(宿泊・飲食)
- 5月以降の受注は昨年同期と比べて増加(サービス)
- コロナの状況次第で、今後の売上が読めない(宿泊・飲食)

3 コスト状況

商品や原材料や建設資材、製造材料などあらゆる原材料価格の上昇は依然として続いており、原材料の上昇回答は 91%と高水準となっています。また燃料費や包装資材の値上がりによる影響によりその他の経費でも上昇回答が 85%となっています。人件費では最低賃金引上げに伴いこの1年間で上昇傾向が続き、46%と約半数が上昇回答となっています。

－前年同期と比べて－(全業種)



【主なコメント】

◆原材料

- 仕入れ価格の上昇(卸・小売、宿泊・飲食、サービス)
- メーカーからの値上げ(卸・小売、建設、サービス)
- 木材、コンクリートの上昇(建設)
- 電線が2割ほど上昇(建設)
- 鉄材の上昇(製造)
- 円安による輸入品の値上げ圧力(製造)
- 食材の上昇(宿泊・飲食)
- 部品代、オイル関係(サービス)

◆人件費

最低賃金が上がっている、さらに上げないと人手が集まらない(製造)

人件費は時給 1,000 円時代で上げざるを得ない(製造)

人材育成(製造)

時給上昇(宿泊・飲食)

昇給と増員(サービス)

ベースアップ(サービス)

人件費も上げないと集まらない(サービス)

◆その他経費

電気代、燃料費の高騰(全業種)

エネルギーは 2 倍に増加(製造)

包装資材は値上げのうえ納期延長(製造)

オイル価格 1ℓ 当たり 20 円 UP(製造)

原油高・ウッドショックによる紙の値上げ(製造)

ロシア・ウクライナの戦争により、船の燃料・修理費の高騰(サービス)

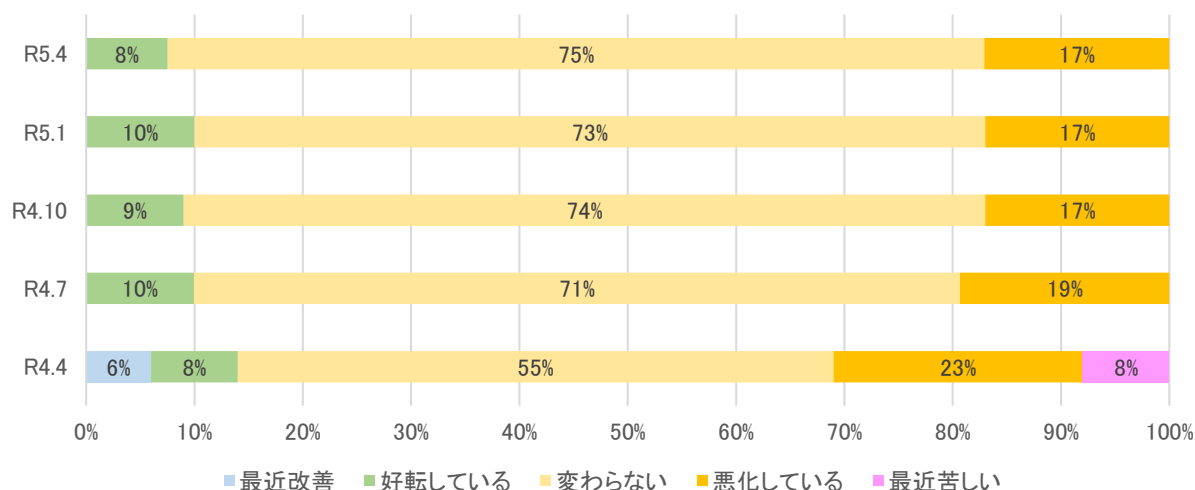
全ての物が値上がりしており、収益を圧迫している(製造)

4 資金繰り

資金繰りの状況は前回とほぼ同様の結果となっており、変わらないが 75 ポイントとなっています。一方、コロナ関連融資の返済開始によりキャッシュフローが圧迫されている、という回答も目立ってきています。

－前年同期と比べて－(全業種)

資金繰りの状況



【主なコメント】

日常の店売り減少により、売掛金の比率が大きくなっている(卸・小売)

価格転嫁可能なものについては転嫁している(製造)

コロナ融資の返済により、好転まではいかない(宿泊・飲食)

返済を相談して待ってもらっている(宿泊・飲食)

昨年はコロナ助成金あり補填できた(宿泊・飲食)

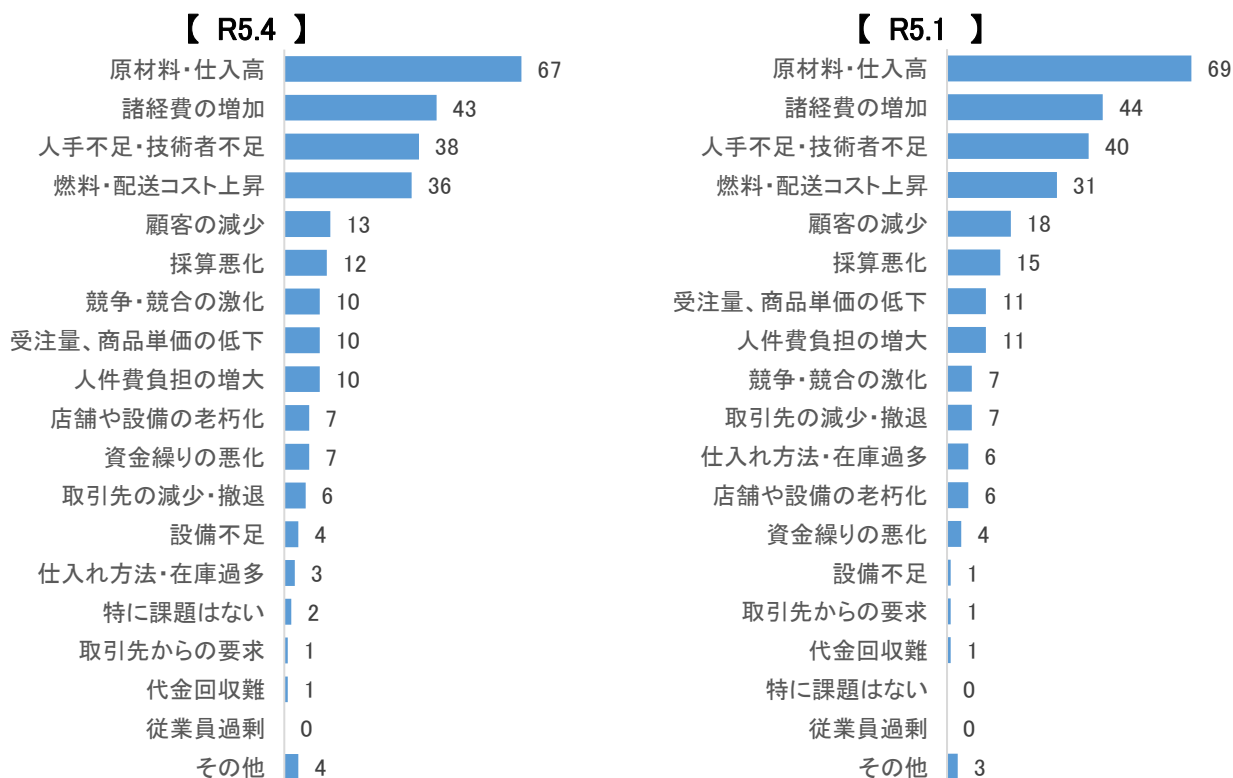
コロナ融資の返済等キャッシュフローは悪化(宿泊・飲食)

5 経営課題

上位の6項目は前回と変わらずとなっています。各項目の回答数は若干減少傾向にありますが、燃料・配送コスト上昇は5ポイントの増加となっています。特に原材料・仕入高は令和3年7月から約2年にわたり筆頭の課題となっており、影響が長期化しています。

(全業種)

※3つまでの複数回答



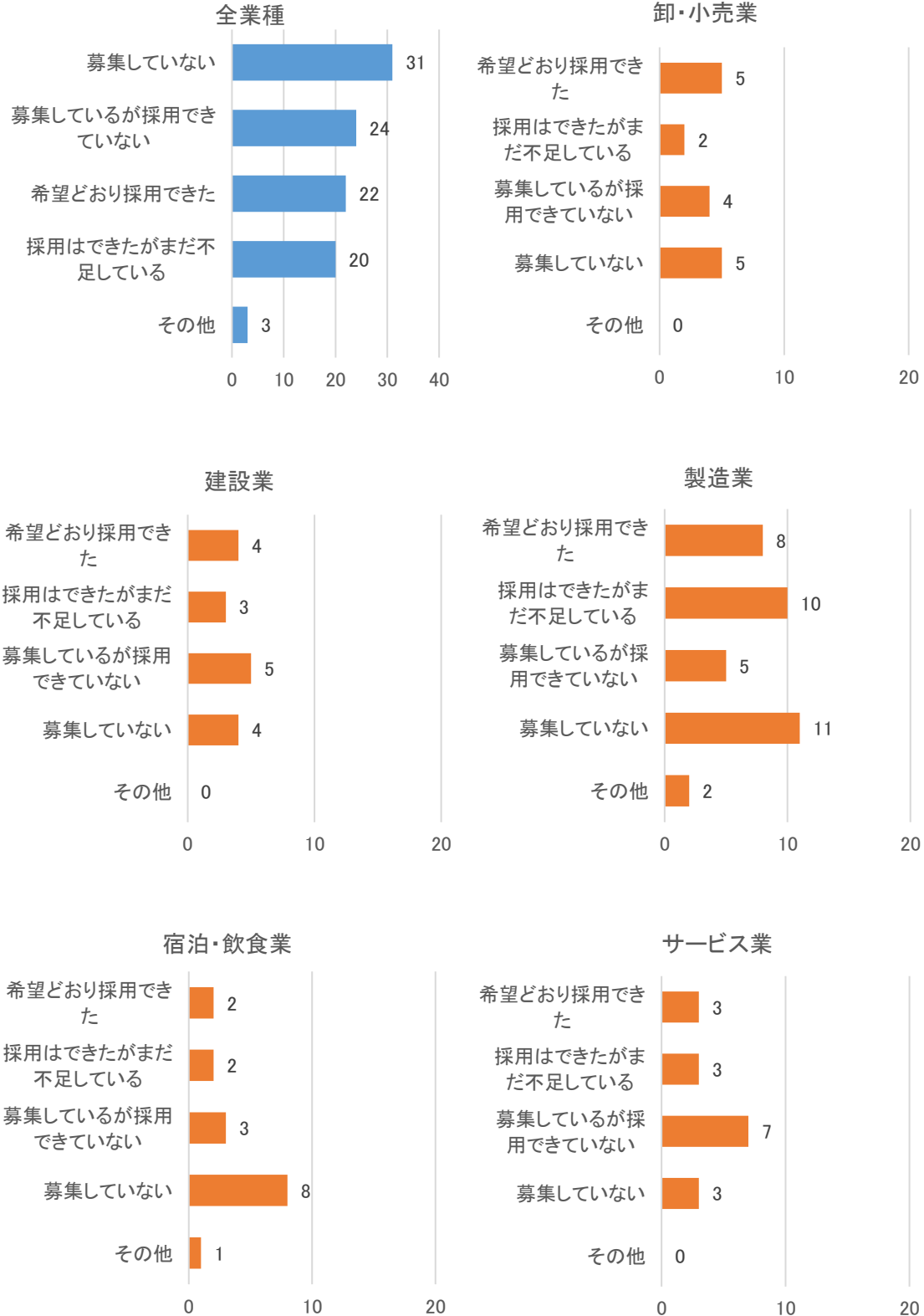
【主なコメント】

今年は受注量と人材が伴わない(建設)
 部材の入手が困難 電子部品の取り合いになっている(製造)
 このままだと生産力が上がらないので賃金の上昇にいたらない(製造)
 インボイス制度の導入に伴う廃業が発生しそう(製造)
 商品値上げをした反応がどう出るか、少し高くても良い方へ出てくれることを期待(宿泊・飲食)
 ロシア・ウクライナの戦争により、原材料・燃料のさらなる高騰(宿泊・飲食、サービス)
 人手不足により、宴会の予約を抑えている(宿泊・飲食)

6 人手不足への対応および価格転嫁の状況

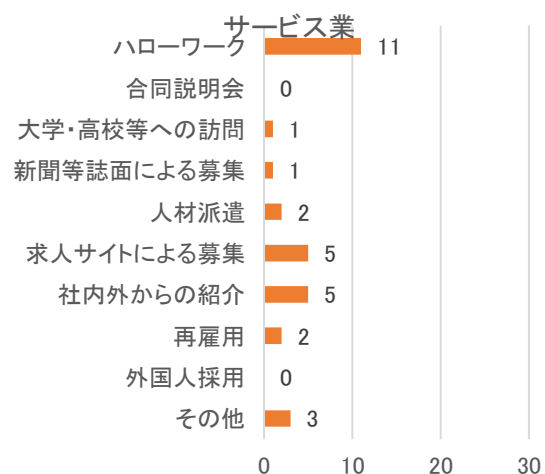
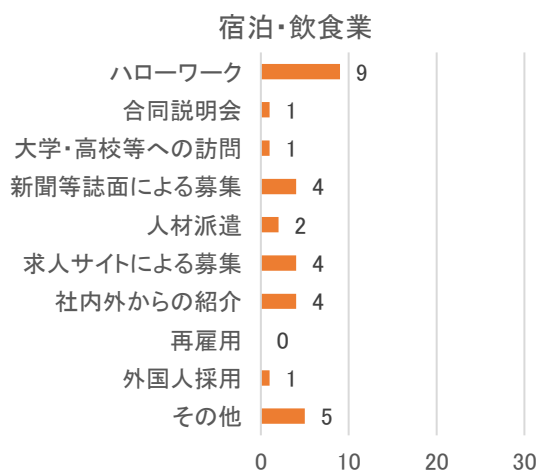
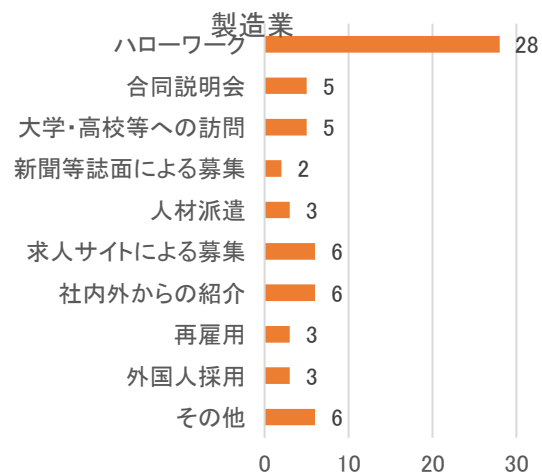
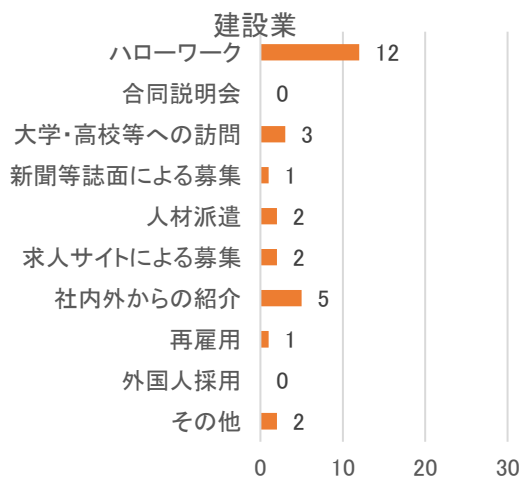
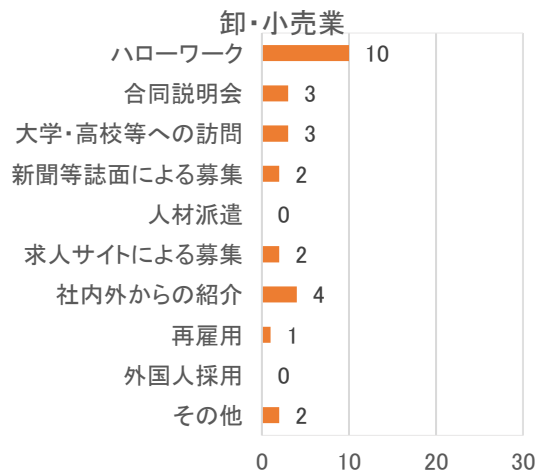
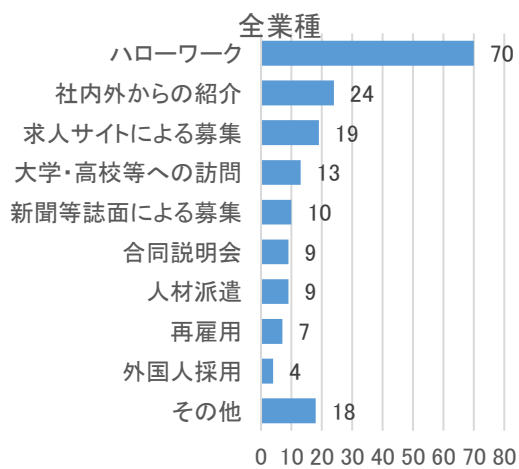
(1)この1年間での採用状況

希望通り採用できた事業所は全体の約 2 割に止まり、募集しているが採用できていない、あるいは採用はできたがまだ不足しているの回答が合計 44 ポイントであり、全業種での人手不足の状況が顕れた結果となりました。



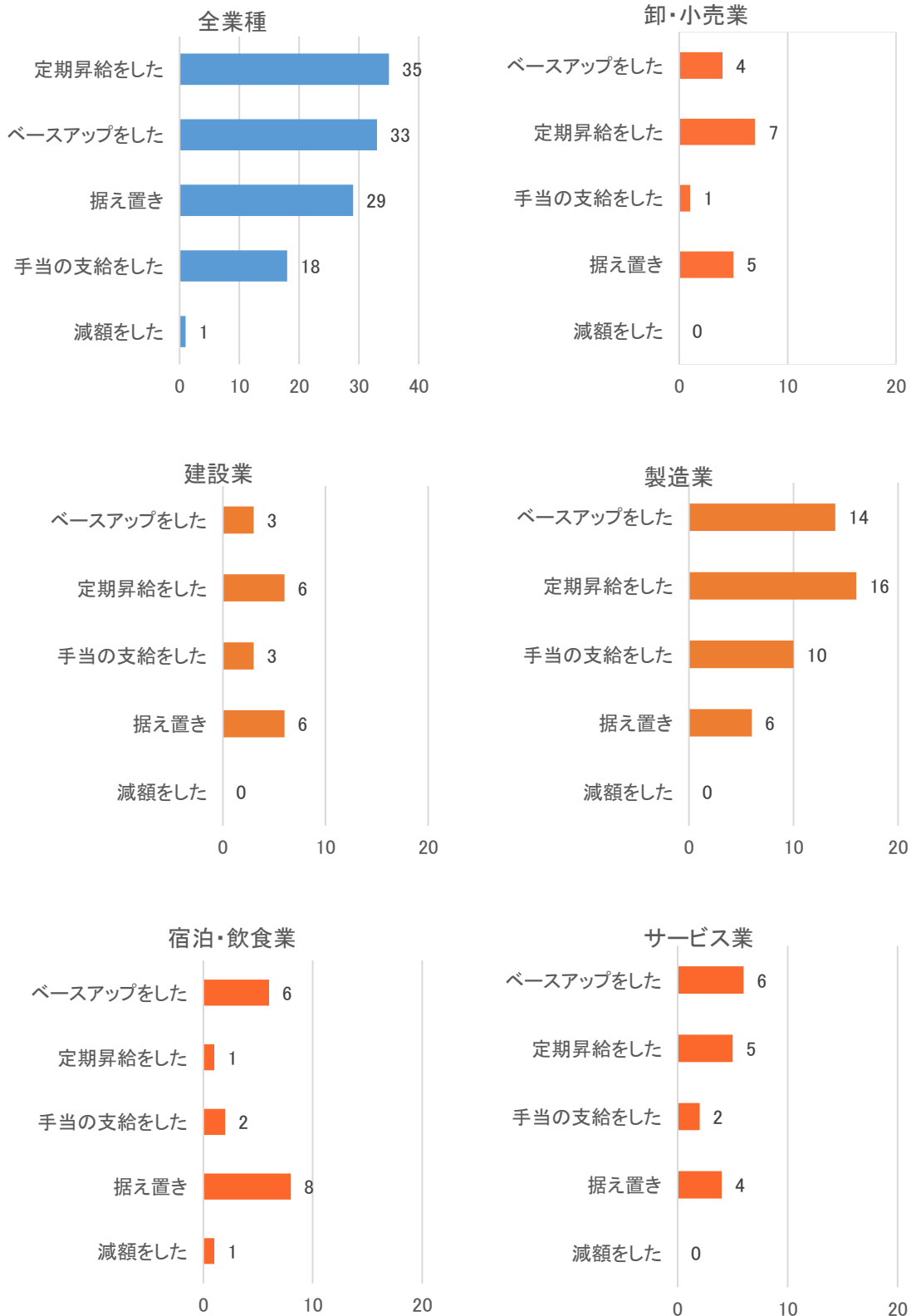
(2) 募集方法

ハローワークでの募集が70ポイントでトップ、社内外からの紹介や求人サイトによる募集が続いており、様々な方法を活用して求人を行っている状況です。



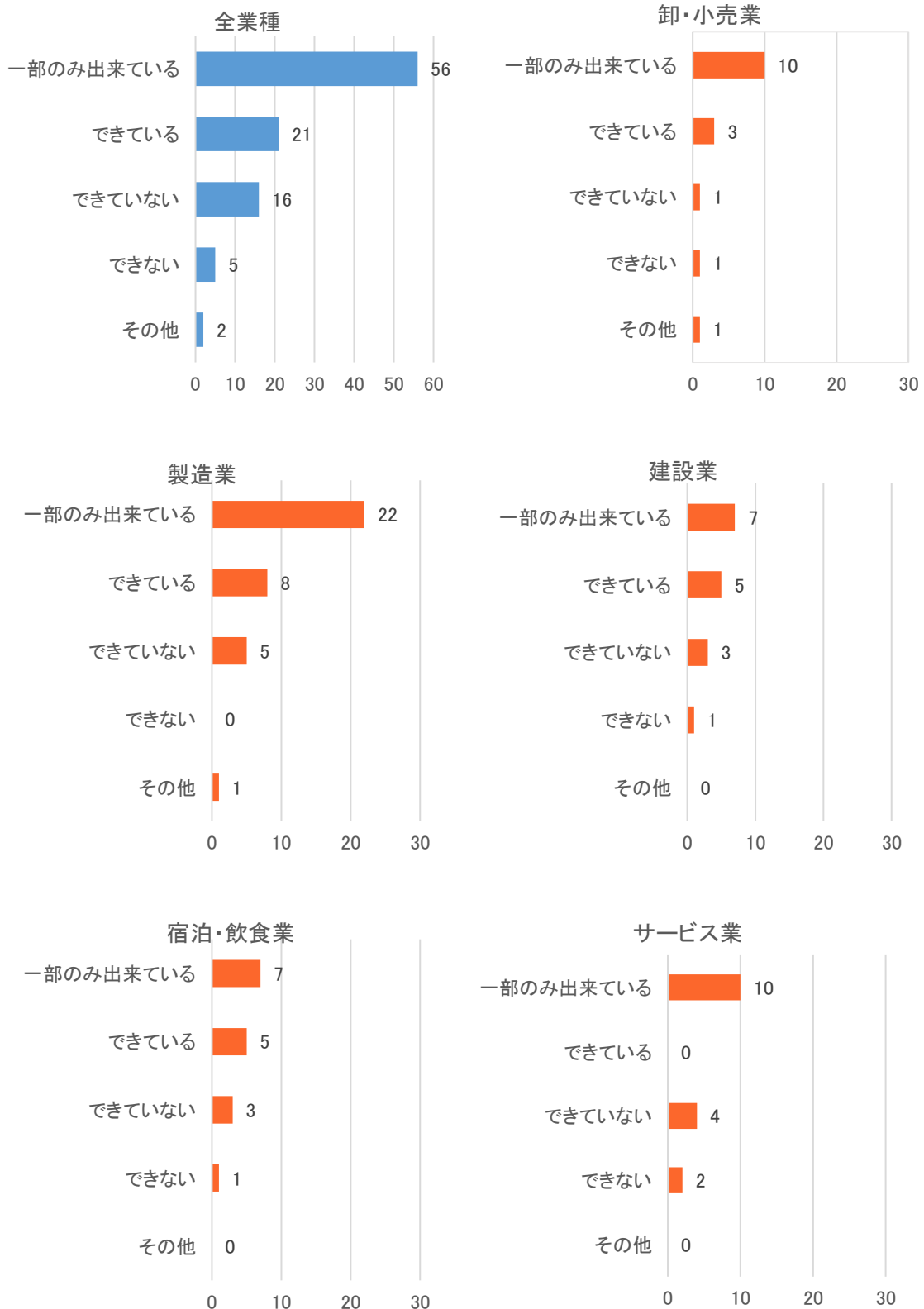
(3) 賃上げへの対応状況

定期昇給が 35 ポイント、ベースアップが 33 ポイントと賃上げへの取り組みがあらわれていますが、一方で約 3 割が据え置きとなっています。また手当の支給での対応は約 2 割が取り組みました。中でも製造業における積極的な取り組みが目立っています。



(4) 価格転嫁の状況

価格転嫁ができていないのは21ポイントに止まり、一部のみできているが56ポイントと多くを占める結果となりました。価格交渉や値上げを実施してはいるもののコスト上昇分に対し十分に価格転嫁できていない状況が窺えます。



【主なコメント】

昨年秋の値上げ分が 4 月に完了するが今秋にも値上げが必要、原料値上げはメーカーからの抵抗が強い(卸・小売)

凡そ転嫁している(建設)

公共工事の価格転嫁はできて極めて限定的(建設)

休日を増やし、実質は賃上げ(建設)

今後は予算の付き具合による一般公共工事の減少が懸念される(建設)

経費の増加は今まで価格据え置きしていたこともあり、価格転嫁した、受注が増えている分、給与を上げていく方針(製造)

募集時に時給も上げ、現職員もベースアップしたが、なかなか求人の応募が来ない(宿泊・飲食)

新システムを導入し生産性が改善(サービス)

【その他】

建設業の中小企業の倒産が増加しているのは、人材不足より安定した受注ができない懸念が大きいのではないかと(建設)

インボイスへの移行やペーパーレス等なかなか考えられない。労働環境の改善をするようによく言われるが、補助が出ていてもやりきれない(建設)

コロナだからといって工事が中止になることもなく、受注にはさほど影響はなかった(建設)

法人の電気代引き下げ策を取れないものか(製造)

同じ製品なのに、取引業者によって製品単価が異なり当社の課題である。何とかならないかと思う(製造)

取引先の意はくみたいが、職人仕事が多く素材の価値を価格に反映できない(製造)

価格転嫁について、消費税のときのようにGメンを配置するなどして転嫁しやすい環境にできないか(製造)

飯田市全体での観光対策や農商工連携を望む(製造)

連休頃からコロナが再増加してくるのではないかと予想されることが心配(宿泊・飲食)

宴会の予約が 100%になることがあるが、実際には半分ほどしか履行にならなかった、オーバーブッキングをさせて、キャンセルありきで受注することを勧められているが、なかなか難しい(宿泊・飲食)

消費者が補助金に慣れてしまっているため旅行支援などの補助金がなくなると来客数が減らないか心配(宿泊・飲食)

諏訪方面では県の割引と並行して割引があった。飯田市でもそういった割引をやってほしい(宿泊・飲食)

助成金、補助金の充実と採択率の底上げを望む(サービス)